

平成26年度教育研究活動報告書

氏名	桜田 知文	所属	芸術文化学部美術学科
学位	修士（工芸）（東京藝術大学）	職位	准教授
専門分野	立体造形 鋳金		
Ⅰ 教育活動			
本年度担当科目			
学部	総合基礎実習 金工演習 塗装法演習 デザイン論 デザイン実習Ⅰ デザイン実習Ⅱ デザイン実習Ⅲ 古美術研究演習 卒業制作		
大学院	デザイン研究Ⅱ		
Ⅱ 研究活動			
これまでの主な研究業績（5件まで）			
（1）〈学術表彰〉『BIRTH』1995年3月、東京都美術館、第34回日本現代工芸美術展、現代工芸大賞受賞			
（2）〈学術表彰〉『風のレクイエム』1993年10月、洞爺村、洞爺村国際彫刻ビエンナーレ展、作品買上			
（3）〈学術表彰〉『BIRTH』1997年10月、洞爺村、洞爺村国際彫刻ビエンナーレ'97展、作品買上			
（4）〈その他〉『飛翔 おのみち』2010年3月、東尾道彫刻公園、作品設置			
（5）〈学術表彰〉『いのち（たびだち）』2012年11月、国立新美術館、第44回日展、特選			
本年度を含む過去3年間の研究業績			
（1）〈展覧会〉東広島現代美術プログラム2012 宇山DNA 委嘱出品			
（2）〈学術表彰〉『いのち（たびだち）』2012年11月、国立新美術館、第44回日展、特選			
（3）〈展覧会〉桜田知文 個展			
（4）〈展覧会〉現代の造形—Life&Art—「版の力」展 委嘱出品			
現在の研究テーマ（3つまで）			
（1）アルミ着色技法			
（2）蠟型鋳造技法による作品制作			
研究テーマの進捗状況	マチエールに関する技法は、ほぼ意図したとおりに出来るようになった。 アルミに緑青を吹かせる技法も安定した定着が出来るようになった。授業に反映していきたい。 蠟型鋳造技法による作品制作を次年度は増やせなかったが、卒業制作を金工で行う学生が2名いて、1名は高さ3メートルの大作となった。		
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績）			
所属学会・所属団体 役職等			
日展、会友 現代工芸美術家協会、本会員・代議員 広島日展会、委員 現代工芸美術家協会中国会、常任委員・運営委員 日本鋳金家協会、中国四国地区委員長 広島県工芸美術作家協会、理事			